

令和6年度 学校教育目標等

教育局	十勝	学校	北海道足寄高等学校	課程	全日制課程
-----	----	----	-----------	----	-------

1 学校教育目標

- (1) 自他の人権を互いに尊重し、礼儀正しく思いやりのある豊かな人間性を育む。
- (2) 強靱な意志と体力を養い、目標達成に向けて努力し、挑戦する主体性を育む。
- (3) 郷土を愛し、地域創世の視点から、地域活性化に資する豊かな創造性を育む。
- (4) 奉仕と勤労の精神を尊び、社会的自立に向けて判断・行動する協調性を育む。

2 スクール・ミッション

地域との連携を密にし、地域活性化に資する人材育成の推進

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針
1 知識や技能の習得に加え、教材を読み解き、理解する力【読解力・分析力】
2 課題を把握し、解決への方法を創造し、実践する力【課題解決能力】
3 傾聴姿勢に富み、良好な人間関係を構築する力【コミュニケーション能力】
4 自分の考えをまとめ上げ、他者に伝達発信する力【プレゼンテーション能力】
○教育課程の編成及び実施に関する方針
1 基礎基本の定着及び思考力・表現力・判断力の育成に向けた能力別授業編成を行う
2 生徒の適性や能力の伸長に応じ、自己実現を支援するための多様な選択群を開設する
3 地域の教育資源や人材を有効活用し、教科を横断した体験的な学びの構築を推進する
○入学者の受入れに関する方針
1 向上心に溢れ、自ら勉学に勤しむ生徒（知）
2 礼節を弁え、主体性を持って行動できる生徒（徳）
3 心身共に健康で、目標達成に向かって努力する生徒（体）

4 指導上の重点事項

重点目標	1 全ての教育活動で社会貢献に資する生徒の課題解決能力を育む。 2 ティーチングとコーチングの併用で生徒のメタ認知能力を育む。
学習指導	○わかる喜びと学ぶ意欲を引き出す授業づくりの推進 1 生徒の潜在能力を引き出すコーチング・スキルの体得 2 協働的に学習事項の定着を図る、生徒同士の学び合いの誘発 3 ICTを活用して学習ニーズの個別化への対応と学習計画の自己管理の促進 4 読解力の向上をはじめとした探求的な学習に必要なスキルの育成
生徒指導	○生徒指導提要に基づく生徒指導の推進 1 社会情勢をふまえた生徒心得の改訂と、課題予防的生徒指導の実践 2 未然防止、早期発見、早期対応、的確な事後対応の日常的な危機管理の継続 3 自治活動をとおしたリーダーシップ・フォローシップの育成 4 専門家・関係機関及び地域・家庭との連携・協働の強化
進路指導	○生徒の可能性を広げる進路指導の推進 1 入学時から2年半までを見通した大学入学選抜試験への対応 2 問題解決能力や自己指導力を伸長させる進路相談の計画的、継続的な実施 3 学習の計画性、目標達成の成功体験を誘発する資格取得の取組の促進 4 公設民営塾、小中学校との学力向上に向けた連携体制の構築
健康・安全指導	○自ら安全の確保と安心・安全な社会づくりに参加・貢献する活動の推進 1 個に寄り添う組織的な配慮と教育相談の実施 2 自助、共助、公助の視点を取り入れた系統的、体系的な防災教育の実施 3 通信等による心身の健康の自己管理の啓蒙 4 学校公式ウェブサイトや学校安全メールによる危機管理のための情報発信

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

令和6年度 北海道足寄高等学校学校経営方針

校訓
敬愛
創造
勤労

スクールミッション

地域との連携を密にし、地域活性化に資する人材育成の推進
～「地域の信頼に応える学校づくり」～

学校教育目標

- 1 自他の人権を尊重し、礼儀正しく思いやりのある豊かな人間性を育む
- 2 強靱な意志と体力を養い、目標達成に向けて努力し、挑戦する主体性を育む
- 3 郷土を愛し、地域創生の視点から、地域活性化に資する豊かな創造性を育む
- 4 奉仕と勤労の精神を貴び、社会的自立に向けて判断・行動する協調性を育む

グラデュエーション・ポリシー

- 1 知識や技能の習得に加え、教材を読み解き、理解する力【読解力・分析力】
- 2 課題を把握し、解決への方法を創造し、実践する力【課題解決能力】
- 3 傾聴姿勢に富み、良好な人間関係を構築する力【コミュニケーション能力】
- 4 自分の考えをまとめ上げ、他者に伝達発信する力【プレゼンテーション能力】

目指す学校像

- 1 刻々と変わる社会情勢に対応した教育活動を行う学校
- 2 学びに向けた成長型マインドセットを醸成する学校
- 3 分かる喜びと学ぶ意欲を引き出す授業を実践する学校
- 4 生徒の自立を促す教育相談を適時に実施する学校
- 5 地域の教育力を生かしたキャリア教育を推進する学校

育成する生徒像

- 1 主体的に学び続ける人
- 2 問題解決に取り組む人
- 3 積極的に受信・発信する人
- 4 チームの一員となる人
- 5 地域に貢献する人

アドミッション・ポリシー

向上心に溢れ、自ら勉学に勤む生徒（知）
礼節を弁え、主体性を持って行動できる生徒（徳）
心身共に健康で、目標達成に向かって努力する生徒（体）

カリキュラム・ポリシー

- 1 基礎基本の定着及び思考力・表現力・判断力の育成に向けた能力別授業編成を行う
- 2 生徒の適性や能力の伸長に応じ、自己実現を支援するための多様な選択群を開設する
- 3 地域の教育資源や人材を有効活用し、教科を横断した体験的な学びの構築を推進する

項目の目標

学習指導 分かる喜びと学ぶ意欲を引き出す授業づくり
生徒指導 生徒の権利を保障し、1人ひとりの人格を認め、包摂していく生徒指導
進路指導 進路相談を基点とした的確な進路マッチングの実施
健康安全 生徒理解の深化と危機管理意識の醸成
信頼される学校づくり 地域から信頼され、選ばれるため実効力のある取組の推進
組織運営 生徒のロールモデルとして協働して課題解決をはかる体制の構築
教職員の資質向上 目指す学校像の実現に向けた、集合研修・個人研修の推進

令和6年度学校経営シラバス 北海道足寄高等学校

分野	設置区分	課程	学科	学期	生徒数	教職員	校長
学校経営	道立	全日制	普通科	前・後	1年64名、2年53名、3年55名、計172名	24名	石橋 栄

目指す学校像	育成する生徒像
1 刻々と変わる社会情勢に対応した教育活動を行う学校	1 主体的に学び続ける人
2 学びに向けた成長型マインドセットを醸成する学校	2 問題解決に取り組む人
3 分かる喜びと学ぶ意欲を引き出す授業を実践する学校	3 積極的に受信・発信する人
4 生徒の自立を促す教育相談を適時に実施する学校	4 チームの一員となる人
5 地域の教育力を生かしたキャリア教育を推進する学校	5 地域に貢献する人

領域	対象	中期目標	今年度の具体的目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	分かる喜びと学ぶ意欲を引き出す授業づくり	1 個別最適学習の推進 2 横断的・総合的な学習の支援 3 観点別評価の定着 4 教育課程の適切な編成と実施 5 公設民営塾との連携	● ICTを活用した個別最適学習の推進 ● 単元表の作成等教科横断の整備ができたか ● 観点別評価が意欲を引き出すことに繋がったか ● 高大接続を踏まえた編成ができたか ● 自己管理や計画ができるようになったか
	生徒指導	生徒の権利を保障し、1人ひとりの人格を認め、包摂していく生徒指導	1 気づきを与える指導 2 行動力を引き出す指導 3 情報端末の適切な使用の徹底 4 いじめの防止と発覚時の対応 5 足寄町との連携	● 過干渉・過保護な生徒指導実践を排除できたか ● リーダー・フォロワーシップが発揮されたか ● ルールを制定しトラブルを防止できたか。 ● 法に基づく対応ができたか ● 足寄町教育委員会との確かな連携ができたか
	進路指導	進路相談を基点とした的確な進路マッチングの実施	1 相談を基点に継続した指導 2 高大接続現況把握と情報提供 3 足寄町の支援の有効活用 4 総合的な探究の時間の管理	● 個々のマッチングを適切に行なったか ● 分析をもとに的確な情報提供を行えたか ● 検定受検と塾の利用、アプリ活用を促進したか ● 主体的な問いに基づく探究活動が行われたか
	健康・安全指導	生徒理解の深化と危機管理意識の醸成	1 必要とされる配慮の対応 2 教育相談の実施と連携 3 防災教育の実施 4 危機管理の徹底	● 個別の配慮を適切にできたか ● SCとの連携と情報共有を適切に行なったか ● 1日防災学校を実施して啓発を行ったか ● マニュアル見直しと危機への対応ができたか

学校運営	信頼される学校づくり	地域から信頼され、選ばれるため実効力のある取組の推進	1 広報・生徒募集活動 2 足寄町内学校間連携の推進 3 PTAとの協働体制の構築 4 地域の教育資源の発見と連携 5 CSの設置準備	● 生徒募集に効果のある募集活動を行ったか ● 教員・生徒の効果的な小中高連携を行ったか ● 校内外のPTA活動を通して信頼関係ができたか ● 地域の教育資源の有効活用がされたか ● 令和6年度運営開始の準備が完了したか。
	組織運営	生徒のロールモデルとして協働して課題解決をはかる体制の構築	1 施策推進時の協働意識の向上 2 働き方改革の推進	● 変化を前向きに受け止め、参画意識は向上したか ● 生徒の主体性育成が目的の業務精選ができたか
	教職員の資質向上	目指す学校像の実現に向けた、集合研修・個人研修の推進	1 服務規律の厳正な保持 2 授業改善の研修の実施 3 業務改善の研修の実施 4 危機管理意識の継続	● 通知や法令に基づいた責任ある行動がとれたか ● コーチングスキルが向上したか ● 担当業務の適正化ができたか ● 事故予防と発生時、緊急時の対応ができたか